

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年5月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高槻市教育委員会	代表者名	樽井 弘三
担当者部署	教育委員会事務局教育センター	連絡先電話番号	072-675-5665
担当者役職	副主幹	担当者氏名	細野 良和
住所	5690067 大阪府高槻市2番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松浦 龍基
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・端末調達における課題や問題点をお伺いでき、また、想定していなかったランニングコストについて、課題と認識することができ、非常に参考となった。
アドバイザーへの要望事項	本市の多くの疑問点に丁寧にご教示いただき、大変感謝しております。引き続きご相談をさせていただきたく存じます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年5月22日	13時00分	15時00分		120
支援形態	支援・助言(オンライン)				

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	端末について、1人1台端末の整備に向けて、最適な端末選定の検討を行う必要があり、さらに自宅への持ち帰りも想定した選定が、急遽求められている。限られた予算の中で選定することとなるが、GIGAスクールパッケージとして紹介された端末について、OS毎の比較や教育支援ソフトなど、ソフト・ハードともに職員で優劣を判断することが難しい状況がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	共通基盤そのもののや効果的な導入についての知見を得る。そのことにより、本市に最適な共通基盤の仕様を作成し、必要な予算を確保し、共通基盤を導入する。また、情報担当課の職員だけでなく、汎用機で稼働している基幹システムの業務担当課職員についても、共通基盤に関する理解度を向上させる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①機種ごとの機能比較と機能の詳細 ②学校の情報環境整備に関する調達範囲として検討すべきポイント ③上記に関する質疑応答 ④先行事例の紹介	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①ChromeBookを導入する場合の検討ポイント ②端末仕様書の検討にあたっての個々のポイント	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 調達仕様作成にあたっての検討資料
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	調達仕様書に記載する、端末の保障の範囲	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業担当者に対する直接的な助言であり、アンケート等による分析を必要としていないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑥その他
事業の最終的な目指す姿	令和2年度中の端末導入を目指し、想定端末の確定、予算要求等を行う。予算要求後は、調達仕様を確定し、速やかな調達を実施する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

